

# JINSE による大学院等高度副プログラム「データ科学」とその課題

大阪大・基礎工 狩野 裕

大阪大学では、JINSE の支援を得て平成 26 年 4 月に大学院等高度副プログラム「データ科学」を新規開設した。副プロ「データ科学」には (i) 統計数理, (ii) 機械学習, (iii) 保健医療統計学, (iv) 人文社会統計学, (v) 経済経営統計学の 5 つのコースが用意されている<sup>1</sup>。

大阪大学は学際融合教育を推進しており、大学院に入学した学生を中心に、学生が所属する 主専攻の教育課程以外 の内容を学んだり、あるいは主専攻の専門性を生かすための 関連分野 を学んだりするための教育プログラムとして、「大学院副専攻プログラム」と「大学院等高度副プログラム」を提供している。どちらのプログラムも、教育目標に沿った、一定のまとまりのある授業科目で構成され、各プログラムが定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了する際に当該プログラムの修了認定証が交付される。修了認定証は主担当部局の部局長と総長の連名で発行される。平成 27 年度は合わせて 51 のプログラムが開講され例年 900 名近くの大学院生が新規に申請する (大阪大学新規大学院生の約 1/3)。開講プログラム数と受講者数は共に全国トップクラスであり、特に大学院プログラムとしては最大の規模を誇る。4 月には合同ガイダンスが開催され、各プログラムは大判のポスターを用意し、興味ある大学院生にプログラムの特徴や修了要件などを説明する。ちなみに、「データ科学」の修了要件は各コースの構成科目群の中から 5 科目 10 単位を修得することである。

副プロ「データ科学」の新規申請者数は平成 26 年度は 137、平成 27 年度は 92 であり、全 51 プログラム中最高位となっている<sup>2</sup>。近年の統計学ブームに支えられた人気であるが、この機会を活かして、数理やデータ科学の重要性と有用性を訴えていきたい。

大学間連携共同教育推進事業の取組「データに基づく課題解決型人材育成に資する統計教育質保証 (JINSE)」には、副プログラムのカリキュラム等を議論して頂いただけでなく、講師の派遣や特任教員の雇用等で援助いただいている。また、連携大学である同志社大学 (文化情報学研究科) および大阪府立大学 (理学系研究科) と学生交流に関する大学 (部局) 間協定を締結し、これらの大学に所属する大学院生を特別聴講学生として受け入れ単位認定を行っている。

同副プロの各コース共通のコア科目が「データ科学特論 I」と「データ科学特論 II」であり、夏季に集中講義として開講している。大阪大学大学院生と特別聴講学生と合わせて 100 人前後が受講する。なお、同科目は公開講義として学外の学生等にも公開している (単位認定なし)。

発表当日、プログラムの詳細と課題について報告する。

大阪大学 Press Release. 「大学院副専攻／高度副プログラム合同ガイダンスを開催。大学教育改革の最前線。学部・研究科の枠を超えて学ぶ！」2015/04.

狩野裕 (2013/09). 「大阪大学における統計学の大学院高度副プログラム」2013 年度統計関連学会連合大会。於：大阪大学。

大阪大学 Web. 「大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム」

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/fukusenkou>

大学院等高度副プログラム Web. 「データ科学」

<http://www.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/~Estat/subprogram.html>

<sup>1</sup>生物臨床統計は別にコースがある。

<sup>2</sup>延べ数。一人の大学院生が複数のコース履修を申請することがあるため。ちなみに申請者数第 2 位は、親戚関係にある大学院副専攻プログラム「金融・保険」である。